



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース
11月号(通算 294号)
2021年(令和3年)10月25日発行

発行：NPO 法人堺観光ボランティア協会
理事長 山田 豊秋
〒590-0078 堺市堺区南瓦町 2-1
堺市民活動サポートセンター内(堺市総合福祉会館 2F)
TEL&FAX：072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL：<http://sakai-kanbora.org/>

* **2021年度前半を終えて** *

10月1日に緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が解除され、新型コロナウイルス感染拡大防止のための活動休止は漸く解除されました。2021年度の前半に渡るものでした。このような状況下、協会員の皆様はじめ、行政、堺観光コンベンション協会、及び関係施設の皆様にはご協力、ご理解を賜りお礼申し上げます。

この間、協会はガイド活動の一部を除いて休止していましたが、コロナ禍収束後を見据え、「三好一族の関連施設及び遺跡をめぐる」ウォーク等の堺観光モデルコースの拡充、堺市南区、中区に跨る「陶器の郷(すえきのさと)」を新たな観光資源に育てるべくコース開発、及び令和5年度オープン予定の「(仮)堺鉄砲鍛冶屋敷ミュージアム」でのガイド養成勉強会を進めてきました。

当協会が総力をあげて取り組む郷土の偉人千利休さん関連事業は令和3年度堺市文化芸術活動応援補助金対象事業に認定され(堺市教育委員会後援、堺ライオンズクラブ協賛)、その一環である「親子で楽しく!夏休み 利休わくわく体験ツアー」の中断がありました。緊急事態宣言解除後に再開しました。また小学生対象の千利休屋敷跡での「クイズに参加して利休さんを知ろう!」を開始しました。また2022年12月に開催を予定しています記念事業の目玉「歴史小説家・伊東潤氏講演」の公開講演会の準備に入りました。

伊東潤氏について氏の一端を紹介します。多数の文学賞を受賞またその候補に上がるなど1960年生まれで早稲田大学卒業の有名作



利休屋敷跡でのクイズのようす

家です。2015年の発刊の『天下人の茶』、2020年の『茶聖』で千利休の人生を通じて堺について執筆されており愛着を感じます。両著とも歴史解釈の一説ですが、執筆内容はリアリティに富んでおり真実ではとの思いがします。村田珠光から千利休の茶の湯の「詫び寂び」と「作為」、武野紹鷗の四畳半茶室から千利休の草庵風二畳台目・二畳茶室、秀吉の黄金茶室、世の静謐(せいひつ)を目的に秀吉と強調しつつも徐々に疎んじられ死を命じられるまでの心の葛藤など多くの参考文献より導き出した力作です。

ところで、緊急事態宣言中、飲食業者が大きな痛手を被っていると話題になっています。しかし当協会のような観光及び関連業界も同様に打撃を被っています。収支の悪化は予想以上に大きく、協会自体の事業活動費減少が頭痛の種となっています。第6波襲来が予想されていますが感染防止対策には十分配慮して活動しましょう。

10月以降、再び堺の街に観光ボランティアガイドの黄色の制服が至るところで見かけることでしょう。堺の街に「明るさ」を取り戻すべく頑張っていきましょう。

【理事長 山田豊秋】

事務局 ニュース

★ 配置確認簿はすでに廃止です

協会活動が再開になり、定点に配置に付かれた皆様から、配置確認簿の問い合わせが多数あります。

配置確認簿（出勤簿）はすでに廃止になっております。ご注意ください。

★ 2021年度第10回理事会報告

【開催日時】2021年10月4日（月）

【場 所】東洋ビル 13時～14時

【承認事項】

公開講演会の費用発生

来年12月10日(土)の公開講演会の申込みにあたり以下の費用が発生

13か月前に申し込みが必要のため申込み金¥128,310発生

会場：フェニーチェ堺

費用が10万円を超える為、承認をお願いしたい

※参考

利休生誕500年記念事業 公開講演会

第一部講演 歴史小説家 伊東潤氏

第二部対談または鼎談

全会一致で承認されました

《本項、次ページへ続く》

☆ 11月号 インデックス (目次)

		ガイドの豆知識 北野大茶湯前後の利休と堺 博多	11
巻頭言 2021年度前半を終えて	PI	さかい利晶の杜 企画展 みて さわって堺のやきもの	12
事務局ニュース・インデックス(目次)	2	横寝地蔵さん 立ち上がる	13
総務部ニュース	4	さようなら、さいとうたかおさん	14
事業部ニュース・広報部からのお願い	5	知って得する堺の偉人その4 「はとぶえ」創始者 別所やそじ氏	15
企画部ニュース	6	大仙公園 色づく秋がもう間近です	15
研修部ニュース	7	活動再開	16
ツアーガイド部ニュース	8	「撮るさかい見てある記」JA CROP こぼれ話(18)	17
定点ガイド部ニュース	9	人気アナの柴田博さんが、取材に来ました	17
広報部ニュース	9	11月度月間予定表	18
インフォメーション・ガイド便利 MEMO	10	編集後記	19

【報告事項】

1. 今年度決算見通し (8月末時点)

単位;千円

	8月末	前年決算	今期予算	期末見通し	予算増減	備考
収入の部	1,534	16,237	20,334	12,970	-7,364	
定点ガイド料	205	10,191	15,398	8,605	-6,793	コロナのため減収
一般ガイド	19	330	1,440	720	-720	
その他収益	462	3,997	40	1,262	1,222	年次給付金が寄与
経常支出の部	4,436	15,135	22,847	15,351	-7,496	
交通費	1,137	7,712	12,346	7,600	-4,746	コロナにより節減
賃借料	529	2,428	1,489	1,400	-89	オフィス借料減
経常増減額	-2,902	1,102	-2,513	-2,561	-48	

*費目は主なものを記載

特に意見はありませんでした

2. 文化財特別公開代替イベントについて

現時点で別添資料。バス周遊の2コースを実施する

*12月としたのは、ワクチン接種の区切りとなる11月以降とした為

①実施予定日 12月4、5日案

②開催場所 ・環濠と古墳エリア 開口神社・アルフォンスミュシャ館
仁徳天皇陵古墳/黄梅庵 南宗寺

・ベイエリア 旧堺燈台・旧浜寺公園駅舎・大鳥大社

*上記エリアにガイド付き周遊バスを運行

③観ボラは各コース2ポストのガイド(ガイド数 観ボラ案:5名/ポスト)

・環濠と古墳コース ・開口神社 ・黄梅庵

・ベイエリアコース ・旧堺燈台 ・旧浜寺公園駅舎

④周遊バス

・環濠と古墳コース 1便/30分 定員20名 プロのバスガイド付き
所要時間50分

・ベイエリアコース 1便/20分 定員20名 プロのバスガイド付き
所要時間60分

⑤催しの名称

名称は「環濠と貿易都市堺を知ろう～堺文化財公開～」

と決定しました。

特に意見はありませんでした

総務部 ニュース

★ 会員の状況

<10月25日現在 >

正会員数 250名・賛助会員数 5名・総会員数 255名

退会者：22期 松村利雄様、30期 宮本敏久様

今期入会 28名・退会 13名

★ 新年互礼会を開催します

日 時 2022年1月12日(水)14時から

会 場 福社会館6Fホール

プログラム 1. 新年のあいさつ・・・ご来賓の方と理事長からいただきます
2. 30期入会者の自己紹介
3. 10年表彰・・・18期入会の12名様
4. 会員互礼会

なお、当日の飲食は時節柄用意をしませんので、会員の方々多数の出席をお願いします。

出欠確認は同封の12月予定表にて行いますので、ご協力をお願いします。

★ 2021年度下期会費の納入

11月度の交通費支給額から下期会費3,000円を相殺させていただきます。

交通費から相殺できない方には個別払込をお願いします。

★ オフィスクローズ

11月3日(水)・23日(火)は国民の祝日で福社会館休館日につき、観ボラオフィス使用不可、移動オフィスで転送電話受け業務を行います。

★ 月次支援金

7月分を10月7日、8月分を10月12日にそれぞれ受給しました。

事業部 ニュース

☆ 利休生誕 500 年 PJ

1. 「クイズに参加して利休さんを知ろう！」

利休屋敷跡での小学生対象イベントを実施しています。10月2日(土)から始まり、今月の31日(日)まで土日みの開催です。子どもたちは賞品の「色えんぴつセット」を喜んでくれていました。大人にもクイズは評判よろしいようです。

2. 「利休わくわく体験ツアー」を再開します。

当協会 HP で募集が始まりました。11月23日(火・祝)1日限定の企画ですが、すでにたくさんのお申込みが来ています。11月15日に抽選して決定します。

☆ こども堺学授業

11月9日(火)10:00より東浅香山小学校にて6年生3クラスを実施予定。

☆ 鉄砲鍛冶屋敷勉強会

11月25日(木) 14:00より堺市博物館にて開催します。

広報部からのお願い

広報部では観ボラ協会員の皆様の投稿をお願いしております。協会ニュースをよりいっそう皆様のものにする為、皆様の堺への思い・協会への思い・協会活動・ご自身のこと・ウンチク等、なんでも結構です。

又、利休生誕 500 年に関連して、「私と千利休」的なものも歓迎します。現在、好評連載中の「知って得する堺の偉人」にも あなたのイチオシを!

我と思われる方は、広報部員までご相談をお寄せください。

企画部 ニュース

☆ 大阪奈良歴史街道リレーウォーク

第6幕第2回実行委員会は新型コロナウイルスの感染拡大の影響と会場の関係で日程を11月22日(月)に変更して桜井市で開催されます。

☆ 羽衣国際大学インターンシップ実習生受入

新型コロナによる緊急事態宣言延長の為、羽衣国際大学インターンシップ実習生の受入は中止になっておりましたが、改めて、2022年2月2日(水)~3月31日(木)にインターンシップ実習生受け入れ要請がありました。

応募の学生が有れば期間中の日程を調整して10日間実習生の受け入れる計画をしています。

☆ 「陶器の郷」 勉強会開催

10月号協会ニュースでご案内致しました通り、企画部で『陶器の郷 勉強会』を開催致します。

「陶器の郷」 勉強会

日時・場所；11月26日(金)午前・午後の2回開催

10時~12時 堺市総合福祉会館 第2会議室

14時~16時 堺市総合福祉会館 第1会議室

定員；午前・午後各20名(事前に申し込みを済まされている方)

講師；企画部 小川正夫氏

ひといき休憩 はしやすめ

右の大樹は
どこの？
なんの木？



研修部 ニュース

☆ マナー研修

16期～18期対象の研修を11月9日(火)14時～堺市総合福祉会館大研修室にて行います。必修研修ですのでご参加よろしくお願いたします。

※19期～21期対象の研修は2022年1月27日(木)14時～堺市総合福祉会館大研修室にて行います。ご予約ください。

☆ 30期生入会后研修

新型コロナウイルスの影響で延期していました堺市博物館研修は11月、南宗寺・山口家住宅・清学院の研修は12月に行います。

その後、仁徳天皇陵古墳一周等のミニツアー研修も来年の2月から3月にかけて行います。

☆ 全体研修会「環濠について」

「鉄砲鍛冶屋敷保存修理工事の進捗状況について」を堺市文化財課職員の方からお話しいたします。

全体研修会

「鉄砲鍛冶屋敷保存修理工事の進捗状況について」

日時：11月29日(月)14時～

会場：堺総合福祉会館大研修室

定員：60名、応募多数の場合は抽選

(結果はメール・電話にて連絡します)

☆ 30期生千利休屋敷跡の配置について

30期生は11月から大仙エリアに加えて千利休屋敷跡にも配置に入ります。

千利休屋敷跡は一人配置の為、新人には荷が重いと思いますので、30期生の初回配置に限り先輩会員1名+30期生1名の2名体制で配置になります。ご指導宜しくお願致します。

ツアーガイド部 ニュース

☆ 11月の堺自転車ツアー ～幕末から明治の堺をめぐるます～

11月14日(日) 9時30分に堺駅観光案内所に集合
堺旧港～大浜公園～お台場跡～晶子生家跡～開口神社～土居川公園～河口慧海像

☆ JRふれあいハイキング秋号

～世界文化遺産 反正天皇陵古墳から仁徳天皇陵古墳へ～

11月21日(日) 10時 みくにん広場に集合
源右衛門山古墳～仁徳天皇陵古墳拝所～大仙公園内古墳
～履中陵ビュースポット～百舌鳥古墳群ビジターセンター
約2時間半のコースを案内します。

☆ ボランティアと一緒に歩こう

～ 堺のええところ & 紅葉 ～

11月28日(日) 10時
①旧市街コース(七道駅集合)
清学院～鉄砲鍛冶屋敷～山口家住宅～月蔵寺～覚応寺
②日本庭園コース(仁徳天皇陵古墳拝所前集合)
仁徳陵拝所～銀杏並木～日本庭園～履中陵ビュースポット～堺市博物館

★ 11月からのツアーガイドについて

ツアーガイドのコロナ感染症対策のための規制について、11月1日から以下の通りになります

*マイク使用を前提として

案内人数を5名から10名

団体顧客数20名から100名

案内時間は、10時から16時30分まで

*バスへの乗車の開始

旅行会社に次の事項を確認の上

バスの機能確認(エアコン&換気機能～新幹線並み)

バスの乗車率を70%以下とする

バス会社の感染症対策の確認

担当者の上記の内容の了解

今まで通りに基本的な感染症対策をして案内をしていきます

★ 9月度 ツアーガイド実施報告

9月は、活動がありませんでしたので、実績報告はありません。

定点ガイド部 ニュース

☆ 連絡

1. 10月1日より緊急事態宣言が解除になり、各定点の活動も再開されました。活動再開に当り「活動マニュアル」・「ガイドマニュアル」の再確認をお願いします。
「配置確認簿」も2021年4月より廃止になり、配置確認は「オフィス連絡」と「活動日誌への記載」に変更になっています。
2. 南宗寺様より、午前・午後の交代時の引継ぎ会話の声が大き過ぎるとのご指摘を受けました。
時間的に修行中の雲水さんが、禅堂で休憩されている場合もあり、もう少し配慮して欲しいとの事です。10月より雲水さんも一人増えて3名になりましたので、くれぐれも交代時の会話の声には注意して下さい。また、禅堂の案内は禅堂の前ではなく、受付付近からお願いします。

★ 10月13日に全体会議を行いました

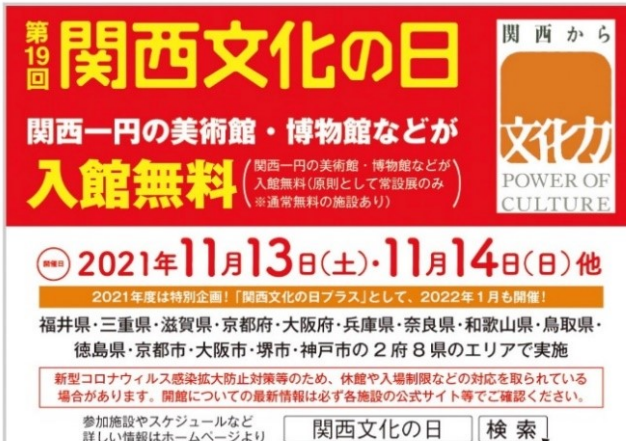
9月も緊急事態宣言の延長で活動休止のため、各定点の「活動日誌」抜粋はありません。

広報部 ニュース

★ JA「CROP」関係 10月度活動

- 10月3日(日) 北区 奥本町 取材
10月9日(土) 編集会議

☆ 関西文化の日



第19回 **関西文化の日** 関西一円の美術館・博物館などが **入館無料** (関西一円の美術館・博物館などが入館無料(原則として常設展のみ ※通常無料の施設あり))

2021年 **11月13日(土)・11月14日(日)** 他
2021年度は特別企画!「関西文化の日プラス」として、2022年1月も開催!

福井県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・徳島県・京都市・大阪市・堺市・神戸市の2府8県のエリアで実施

新型コロナウイルス感染拡大防止対策等のため、休館や入場制限などの対応を取られている場合があります。開館についての最新情報は必ず各施設の公式サイト等でご確認ください。

参加施設やスケジュールなど詳しい情報はホームページより

11月13日、14日の2日間は恒例の「関西文化の日」になりますので、関西地区中心の博物館、美術館など680カ所の施設が無料開放になります。堺市は全ての施設が入場無料になります。ただし日本庭園は11月3日、ミュシャ館は5日に開催します。同封のパンフレットのコピーを参照ください。

《インフォメーション》

☆ 語学同好会のご案内

世界文化遺産“百舌鳥・古市古墳群”他、堺のことを直接自分の言葉で紹介できたら！
あなたのチャレンジ精神を發揮！ ご参加を募っています！

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	11月 17日 (水)	13:30	集合：百舌鳥古墳群ビジターセンター前 大仙エリアでの実地研修
・韓国語同好会	11月 4日 (木)	13:30	堺市多文化交流プラザ・さかい (堺市総合福祉会館5階大会議室)
・中国語同好会	11月 25日 (木)	13:45	堺市多文化交流プラザ・さかい (堺市総合福祉会館5階大会議室)

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は会場で直接申し込みください。

※ ベテランの方も新入会の皆さんも、奮ってご参加ください！

《ガイド便利MEMO》

☆ 各施設の2021年11月の休館日・休園日は以下の通りです。

新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、休館・休園等となる可能性があります。
状況にご留意ください。

☆ 各施設11月13日・14日の2日間は恒例の「関西文化の日」で入場無料になります。

但し、日本庭園は3日、堺アルフォンス・ミュシャ館は5日が入場無料になります。

・山口家住宅・清学院	休館：毎週火曜日 但し祝日の場合翌日休館	2日・9日・16日・24日・30日 休館
・堺アルフォンス・ミュシャ館	休館：毎週月曜日 及び祝日の翌日	1日・4日・8日・15日・22日・24日・29日 休館 16日～19日 展示替え休館
・日本庭園	休園：毎週月曜日 但し祝日の場合翌日休園	1日・8日・15日・22日・29日 休園
日本庭園で秋季夜間特別開園「紅葉の宴」11月13日(土)・14日(日)・20日(土)・21日(日)、23日(火) 日没後から20時までライトアップの紅葉が楽しめます。		
・市役所21階展望ロビー	ワクチン集団接種会場の為、当分の間休館	
・堺市博物館	休館：毎週月曜日 但し祝日月曜日を除く	1日・8日・15日・22日・29日 休館
・堺市茶室 伸庵	休館：毎週月曜日 但し祝日月曜日を除く	1日・8日・15日・22日・29日 休館
・みはら歴史博物館	休館：毎週月曜日 但し祝日の場合翌日休館	1日・8日・15日・22日・29日 休館
・自転車博物館	休館：毎週月曜日 但し祝日の場合翌日休館	1日・8日・15日・22日・29日・30日 休館
新自転車博物館は来春開館予定で、現在の自転車博物館は11月28日迄の予定で12月から閉館です。		
・フェニーチェ堺	休館：第1・3月曜日 但し祝日月曜日を除く	1日・15日 休館
・堺伝統産業会館	休館：第3火曜日	16日 休館
・さかい利晶の杜	休館：第3火曜日	16日 休館(観光案内展示室のみ開館)

《ガイドの豆知識 21》

北野大茶湯の前後の利休と堺・博多

【山田 武彦】

天正 13 年(1585)9 月	64 歳	利休居士号を勅賜される
〃 10 月	64 歳	秀吉の禁中茶会で後見を務める
天正 14 年(1586)	65 歳	秀吉によって堺の環濠を埋められる
天正 15 年(1587)1 月	66 歳	九州出陣前の大坂城大茶会で利休 1 席を担当
〃 6 月	66 歳	利休博多箱崎燈籠堂で茶会を催し、神谷宗湛・島井宗室らを招く
〃 10 月	66 歳	北野大茶会 秀吉の 4 席の内の 1 席を担当する

という具合に利休はまだ秀吉の茶頭としての地位は安泰に見える。天正 15 年 5 月島津氏の平定に成功した秀吉が、博多の町割りを行ったのち大坂に凱旋したのは 7 月 14 日のことである。

この年 10 月 1 日秀吉は北野天満宮の社殿、境内から北野の松原にかけて前代未聞の大衆的な大茶会を開催している。これを、北野大茶湯(きたのおおちやのゆ)と称する。利休が 66 歳の初冬である。この大茶湯の開催に先立ち、9 月 10 日に関白殿下秀吉と千宗易と津田宗及の 3 人が北野天満宮の神前に大茶湯無事達成のための祈願をおこなっている。そして 10 月 1 日、日本の茶の湯史上、最大級の茶会が始まるのである。

この茶会の目的なり趣旨は「茶の湯に熱心なものならば、誰が来てもよい。茶がなければ、米を焦がしたものに、湯をかけて飲ませてもよい、さらに、日本人ばかりでなく、数寄心のある者ならば、唐国からもやってこい、(そしてさらに)来ない者は今後、茶を点てることまかりならぬ。」(高札の一部)というものである。利休は秀吉の 4 席の内 1 席を担当する。



これは天皇はじめ公家達とした宮中茶会、同じく大名衆を客とした大坂城茶会、身分を特定しない北野大茶湯と記録に残る秀吉の茶会において重要な位置を占めている。さて、これほどまでに大騒ぎをした北野大茶湯も当初予定していた 10 日が 1 日で終わる、(肥後国人一揆が原因?)

ここで後日談が生まれる、九州の神谷宗湛(かみやそうたん)のことである。宗湛は宗及の取次で秀吉の朱印状を受けた時は、上洛するには都合が悪かったのであるが 22 日に立出 10 月 4 日大坂に着いている。しかし天候の悪いままに船中で過ごし 8 日に上洛し、その日秀吉と宗及の屋敷で対面している。秀吉は北野大茶湯に遅れたことを怒るかと思いきや「カワイヤ、ヲソク上リタルヨナ、ヤカテ茶ヲノマセウツヨ」とのこと 14 日に宗及と 2 人で茶会に招かれている。この茶室は宗湛のために作り上げたもので、秀吉は「是(このこと)ヲソクシ(筑紫)ニテ人々ニ語り聞セ申候へ」と言ったとい、21 日、大坂城の山里曲輪の数寄屋に宗及と 2 人を呼び大いに歓待している。こんな具合である。

この歓待はただごとではない。宗湛や島井宗室ら博多豪商との接近は、九州征伐の前より顕著となっていたが、すでにこの時期秀吉の脳裏には博多の向こうにある外国への出兵という不遜な野望が芽生え始めていたのではないかと。そう言えば北野大茶湯の高札において「唐国の者までも」と呼びかけているのではないかと。

宗湛はこうした茶事を通じて、じつはその深みにずるずると引きずり込まれていたのである。

そしていまひとつの後日談から考えられることは、秀吉と博多商人宗湛の接触には宗及が深く関わっており、利休の関与が見られないということである。しかしそれ以上に秀吉と宗湛の関わりに石田三成が深く関与しているのが見逃せない。

さて、その頃の堺の様子はどのようなものであったか。実は環濠は埋められ、堺の商人は大坂に移住を命じられて段々と堺の覇気と実力が失われてゆくのである。「博多(福岡市博多区)は古くから、東アジアへの日本の窓口だった。古代には大宰府(福岡県太宰府市)の外港である大宰博多津として繁栄し、中国へ向かう遣隋使、遣唐使もここから出発していた。博多は中国や朝鮮に近く、海外へ通じる都市として栄えたのである。

博多では博多商人が活躍の舞台を広げ堺と並んで自治権を有していた。つまり、自治都市として発展を遂げたのである。博多商人は貿易都市・博多の繁栄を基礎にして、さらに自治的団結を固めるようになった。室町末期に至ると、12人の行司が市政を運営することになった。

戦国時代は戦火にあって荒廃したが、天正15年に豊臣秀吉が九州入りすると、方十町の町割(太閤町割)による博多の復興が行われた。(現在の博多地区は秀吉による都市整備によって、この頃に完成した。そして、商人の町として、再び発展をはじめたのである)」つまり神谷宗湛に代表される都市「博多」の勃興と、利休に代表される都市「堺」の没落がまさしく対照をなしてゆくのである。しかし、北野大茶湯はまさしく秀吉と利休の最も緊密な協力によって可能であったのである。

今回は政治的人間としての利休を書いてみたい。お楽しみに。

参考文献

千利休	村井康彦	日本放送出版協会
千利休	桑田忠親	中公新書
日本史探訪	唐木順三	筑摩書房
日本史小辞典	坂本太郎	山川出版社

さかい利晶の杜 企画展 みて さわって堺のやきもの (11月14日まで開催中)

茶道具としても使われている湊焼や復興本湊焼などのやきものその他、堺陶芸会の方による堺焼などが展示されていました。堺焼など一部の作品は実際に手にとり鑑賞することができます。心地よく掌におさまり、手になじむようなお茶碗の土の感触に癒されました。堺焼は、地元堺の土で作られています。



粘土の原料となる原土(げんど)は、堺市内にある土塔や大庭寺遺跡(おおばでらいせき)付近から採取されたものです。大庭寺遺跡は梅・美木多駅の近くです。古代では陶器(すえき)が造られていた場所です。

驚くべきことに、古代から現代まで同じ場所で焼き物の土が使われているのです。土と焼き物への思いを継承したいですね。



横寝地蔵さん 立ち上がる

【西川 史朗】

堺は他都市と比べお地蔵さんの多い処で、石津地区もかなり古い年代のものや新しいお地蔵さんが街のあちこちに祀られています。地蔵信仰は鎌倉時代より盛んになったようで、お地蔵さんにいろんな願いをかけそれぞれに名前が付けられています。紀州街道を南に下がり南海本線石津川駅前通りと交差する南西側に線香の煙の絶えない地蔵尊を祀った地蔵堂がありました。これが地域では「横寝の地蔵さん」と謂われるお地蔵さんで、元々石津川の川向う(南側)に祀られていたものを昭和の初めにこのお地蔵さんの持ち主の屋敷の一角に地蔵堂を建てて移したものであり、幕末ごろの版木には枝ぶりのよい松の根元に、いまあるものと同じ家形の厨子に納まって安置されている様子が描かれています。

石仏の周囲の石造の手水鉢、花入にそれぞれ安政4年(1857)・文久3年(1863)の年号が表示されていることから、本来は如来として作られたものの、横倒しになったその姿から庶民にとっては最も身近な「横寝地蔵」「こけ地蔵」として村の人々に信仰され、幕末に数多くの人々の喜捨によって厨子・供養具などが整備されたものと思われます。

又、伝えられるところによると、その昔行基菩薩がこの地に来られ、長雨の為に動けなくなり石津川の橋下で雨宿りをされた時に橋げたの石に爪で彫られたのがこのお地蔵さんであるともいわれています。

地蔵堂や内部のしつらえや飾りの設営、管理は勿論の事、毎日の地蔵堂の扉の開閉、清掃からお供えの花や蠟燭・線香等の準備に至るまでお地蔵さんの維持管理は全て持ち主が個人的にやってきました。

現在でも眼病治癒(地蔵尊に供えた水で目を洗うと眼病が治る)・水難よけ(昔、漁師の網にかかったものを引き上げたとの伝説がある)などで信仰をあつめている本地蔵尊は、下石津村(慶安3年(1650)に石津村が上下二村に分村)の江戸後期～幕末期の歴史と信仰のあり方を考える上で欠かすことができないものであり、数年前までは地蔵盆の時には近隣の子供たちで大変にぎわっていましたが児童数の減少と共に地蔵盆も中止となり、今では地域の方や通りすがりの方がお線香をあげてお参りされたり、評判を聞きつけた観光客の方が訪れたりしていました。

この様な維持管理を将来にわたって持ち主が個人的に行うのも限界があるという事で、どこか受入先を探していたのですがなかなか見つからず、地区の共同墓地の無縁塚に持っていくかと言う話も出ていました。

その話を聞いたのでそれは無いでしょうと思い、博物館の先生に相談したところ紆余曲折ありましたが博物館で受け入れて下さる事になりました。

このお地蔵さん、元々は立っておられた筈ですがいつの時代からか?横に寝る形で安置され民間信仰の対象になっていましたが、博物館の石造物の専門家の先生の予備調査では室町時代にまで遡る可能



性が大との事で博物館では文化財として受け入れ、博物館展示室出口側のガラス張り廊下の東側(旧堺燈台頭部や石棺の反対側)の臨江庵の燈籠の隣に製作当初にあったであろう立った状態で展示される事になりました。

10月11日に設置工事が完了しましたのでそれ以降何時でも拝観出来るようになりました。尚、移設と同時に博物館の専門の方が詳細調査をされ、調査結果の論文が来年度の博物館研究報告(館報)に掲載される予定になっています。



さようなら、さいとうたかおさん

【ゴルゴ 13 ファン】

劇画「ゴルゴ13」で知られる漫画家のさいとうたかおさんが、9月24日すい臓がんのためお亡くなりになりました。ゴルゴ13は60代以上の男性なら一度は読んだことのある名作です。現在も連載が続き、単行本は200巻を超え、ギネス世界記録にも認定されています。

徹底的に現在の国際状況を観察し、そこから生み出されるストーリーは正に現実味を帯びています。その中で原子力発電所のメルトダウンを間髪なく救う話は、あまりにも有名です。チェリノブイリの2年前に書かれた話であり、福島原発問題のはるか前の話です。また、今から25年前の連載には、クルーズ船でエボラウイルスが発生して乗客が隔離され、その窮地をゴルゴが救う話があります。言うまでもなく、生々しいではありませんか？

彼は戦前戦後を生き抜いてきました。その中で彼はこのゴルゴ13を通して、当時の日本人の変貌ぶりに一石を投じています。それは物語の中での主人公デューク東郷の言葉に度々記されています。物語内で彼は時の権力者に向かって「その正義とやらはお前たちの正義ではないか！」と言い放すのです。さいとうたかおさんは戦後のどさくさの少年期にこのような発想を抱いたと言われていました。そのよき理解者が堺市立福泉中学校での彼の恩師でした。その先生の名前は東郷先生だったのです。



『ゴルゴ13×』堺市「さいとう・たかお劇画の世界」を開催

日時：令和3年11月3日(水・祝)～12月5日(日)

9:00～20:00

場所：フェニーチェ堺 展示(入場無料)

さいとうたかお氏の堺ならではのエピソードです。



《知って得する堺の偉人 その4》

「はとぶえ」創始者 別所やそじ氏

【土山 裕美】

堺市内で小学生時代を過ごした方、あるいはご自身のお子どもさんを市立小学校に通わせていた方ならよくご存じであろう「はとぶえ」。詩・図画・綴方・習字が掲載されている、全国で唯一の児童文化月刊誌です。

生みの親である別所やそじ（八十次）氏は戦地から復員後、湊小学校（現在は湊西小学校と共に統合されて新湊小学校となった）に赴任。世の中は戦争の爪痕が残る貧しい時代でした。しかし子どもの心だけは明るく豊かであってほしい、との願いから別所先生は担当クラスの児童に詩を書くことをすすめます。「多くの作品を読むことは書くために必要であり書くことにより読む力が養われるもの」と考え、やがて輪が広がり他校の有志の先生方と協力して昭和26年、「児童詩集」を創刊。詩集にふさわしい名をつけようと校区内に住んでいた詩人安西冬衛が「はとぶえ」と命名したそうです。同年の湊小学校女子児童の詩「停電の夜 あんなどころに トタンのあな 星のようだ」は後に国語教科書に載り、当時学生だった作家藤本義一もこの詩に感銘を受け、ラジオドラマの脚本を書きNHK大阪から放送され舞台劇でも上演されました。



土山さんの息子さんの作品が掲載されています

最新号を取り寄せ読んでみました。マスクをした友だちのスケッチ、給食の時間はおしゃべりしたい、という詩などはまさに今の時代ならではのもの！数々の作品からは、みずみずしい感性が溢れ、さび付きかけている我が脳に喝を入れてくれた一冊となりました。かつて同誌に連載されていた「おかしの堺」やそれを元に作られた「堺かるた」も好評でした。関連の出版物は市立中央図書館に保存されており郷土の宝としてこれからも皆に愛され続けるでしょう。今年「はとぶえ」創刊七十周年を迎えます。

参考文献 「湊乃百年」市立湊小学校創立百周年記念誌
「はとぶえ」平成八年一月号・二月号

「はとぶえ」50周年記念
「はとぶえ」令和三年九月号

大仙公園 色づく秋がもう間近です (写真は2020年11月10日)



平和の塔の前のイチョウ



七観音古墳の前のカエデ

活動再開

10月1日より協会活動が久しぶりに再開しています。感染症対策を十分にスタートしました。ツアーガイドや催事の応援も始まりました。

前半は好天に恵まれ、多くの方々が観光スポットや催事会場に訪れていました。鉄砲鍛冶屋敷パネル展や利休屋敷跡でのクイズ大会も好評でした。



JR 百舌鳥古墳巡り



黒姫山古墳 ツアーガイド



鉄砲鍛冶屋敷・パネル展



大仙エリア



利休屋敷跡



町家歴史館・山口家住宅



自転車博物館

「撮るさかい、見てある記」(JA 月間情報誌「CROP」)こぼれ話(その18) 【八木 さおり】

中区深井中町周辺 (2019年12月号掲載より)

今年は、10月になっても、気温が30度を超える日もあり、まだ秋らしいとは言えないですが、この季節は通年なら秋祭りが各地で行われ、週末などは賑やかな町の風景を見られる時期です。昨年に続き、祭りの中止や、宮入のみを行うところが多く、祭りの地域の方々には寂しく感じる秋なのではないでしょうか？ 2年前になりますが、取材に行くとき野々宮神社に宮入するだんじりに出会いました。町中を快走するだんじりと、野々宮神社境内の熱気に、取材陣も圧倒された事が思い出されます。収穫祭にあたるだんじり祭りですが、今では田畑よりも、住宅が多くなったこの地域で、人々の繋がりにもなっているのだなあと、沿道の見守る人達の多さで感じる事ができました。これからも、CROPの誌面で、堺の町の歴史や、地域の特色、町で感じた思いも、読者の皆様に伝えていきたいと、あらためて思う取材になりました。発行された誌面には、だんじり祭りのスケッチ画がトップで、祭りに賑わう深井地域の様子を、お伝え出来たのでは…と、思っています。私自身は、スケッチ者の画力と、ライターの記事力に感謝するばかりで、まだまだ未熟の取材メンバーです。また、取材の様子をこぼれ話で協会の会員の方々にもお伝えさせて頂こうと思っています。



ABC ラジオ「柴田博のほたるまち旅行社」

人気アナウンサーの柴田博さんが、取材に来ました

放送予定日 10月31日(日)

放送時間 朝8:25~8:40

出演コーナー 「ほたるまち通信」

番組内容は、各地の観光協会の方、ゲストの方が、行って良かった場所などを紹介します。今回は、当協会の樽野さんが大仙公園を中心に案内されました。是非、聞いてみて下さいね。(都合により変更する場合があります)



毎週日曜 毎週25分~8時40分
あさ8時25分~8時40分
Hotorumachi Travel

柴田博の
ほたるまち旅行社

航空の旅行代理店「ほたるまち旅行社」。
通乗員の柴田博は少し頼りないけど、人のいい通乗員。
そんな通乗員がいる旅行代理店からは
そんな旅情報にとどまらず、
単なる旅情報と見えてくる！
そこで暮らす人や物が見えてくる！
航空の旅行代理店にやってくる「人」「情報」を
ラジオを通して温かくお伝えしていきます！

9月12日は…
ほたるまちカタログ
をご案内！
※詳しくある

Instagram
はなアキカント

業務日報 コーナー紹介プロフィール お便り



☆ 2021年(令和3年)11月度 月間予定表

日	曜	行	事	時間	場	所
1	月	運営委員会			PC	メール会議
2	火					
3	水	堺市総合福祉会館	休館			電話は当日の担当者に転送
4	木					
5	金	定点ガイド部Aグループ	会議	9:30	堺市総合福祉会館	
6	土	利休生誕500年	メンバー会議	9:30	堺市総合福祉会館	
7	日	J A 「C R O P」	編集会議	14:00	山之ロプラザ	
8	月	定点ガイド部Bグループ	会議	9:30	堺市総合福祉会館	
9	火	こども堺学	授業	10:00	東浅香山小学校	6年3クラス
		企画部	会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館	
		人権を含むマナー	研修(16期~18期)	14:00	堺市総合福祉会館	大研修室
10	水	30期の堺市博物館	研修(1回目)	13:00	堺市博物館	
11	木	ツアーガイド部	会議(見学可)	13:30	堺市総合福祉会館	
12	金	定点ガイド部	全体会議(見学可)	9:30	堺市総合福祉会館	
		事業部	会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館	
13	土					
14	日	堺自転車ツアー	(幕末 明治の堺の名所)	9:30	堺駅観光案内所	
15	月	総務部	部会(見学可)	12:45	堺市総合福祉会館	
		協会ニュース	2021年12月号原稿締切り			
16	火	堺観光情報	連絡会	10:30	市役所高層館	2階
		研修部	会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館	
		広報部	会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館	
17	水					
18	木	30期の堺市博物館	研修(2回目)	13:00	堺市博物館	
19	金	部長会		9:30	堺市総合福祉会館	第4会議室
20	土					
21	日					
22	月					
23	火	利休わくわく	体験ツアー	9:30	利晶の杜又は開口神社	
		堺市総合福祉会館	休館			電話は当日の担当者に転送
24	水					
25	木	協会ニュース	2021年12月号発行作業	10:00	堺市総合福祉会館	MR
		鉄砲鍛冶屋敷	勉強会	14:00	堺市博物館	
26	金	「幻の陶器の郷」	勉強会(午前の部)	10:00	堺市総合福祉会館	
		「幻の陶器の郷」	勉強会(午後の部)	14:00	堺市総合福祉会館	
27	土	J A 「C R O P」	取材 浜寺昭和町	未定	集合場所未定	
28	日					
29	月	全体研修会	「鉄砲鍛冶屋敷保存修理工事」	14:00	堺市総合福祉会館	大研修室
30	火					
【予告】						

堺市全域で新たな観光資源の発信を！

夏から秋を飛び越えいきなり冬になった感があります。皆さまお元気でお過ごしでしょうか。コロナ禍でここ2年程は、市のイベントも中止が相次ぎ、私たちの活動も休止状態が続きお互い顔を合わす機会が少なくなりました。

我々が前に向かって歩みを進めるためにも、自分の住む地域の魅力を語り、地元愛を持って発信し続けることが必要です。

最近活発に活動している南地域での新たな取り組みが、一つのヒントになるのでは？

それが、先月号で紹介した泉北エリアの「陶器の郷」です。

何れにしても「今まで通り」は難しくなりそうです。今まで以上の発信力と案内の質の高さが求められます。

お客様が対価を払ってでも満足感を得られる「おもてなしの案内」を再度認識し、これまで以上に魅力ある団体にして行こうじゃありませんか！

【槇 静一】



再現した登り窯の案内